

第 16 回 発電用設備規格委員会 材料専門委員会 議事録

1. 日 時: 2012 年 8 月 23 日(木) 13 時 30 分～16 時 40 分

2. 場 所: 日本機械学会 第1会議室

3. 出席者: 委員総数 24 名中、出席者 19 名(代理 1 名)、欠席者 5 名

増山(九工大)、高橋(電中研)、木村(NIMS)、浅山(JAEA)、伊勢田(住友金属)、尾崎(東電)、木原(ベストマテリア)、三枝(電中研)、澤田(NIMS)、榎木(住金テクノロジー)、田中(日本製鋼所)、田村(パブ日立)、船田(JNES)、南(NKK シームレス鋼管)、山田(中電)、朝田(三菱重工)、齋藤(三菱重工)、安田(原技協)

代理人:伊藤[石毛(IHI)]

欠席者:安藤(横浜国大)、中城(東芝)、藤森(日立 GE)、吉田(発電技検)、扇柳(保安院)

オブザーバー:片山(関電)、下条(神鋼)、石生(三菱重工)

事務局:高柳、小沢、海野、栗津

4. 配布資料

資料材 16-1	第 15 回材料専門委員会議事録(案)
資料材 16-2	材料専門委員会委員名簿及び出欠状況等
資料材 16-3	第 61 回発電用設備規格委員会議事録(案)
資料材 16-4	ホームページデータ共有化状況
資料材 16-5	材料専門委員会 課題対応一覧(Tracking List)
資料材 16-6	発電用設備規格関連の材料事象

5. 議事内容

(1)開会

委員総数 24 名中、出席 19 名(代理出席 1 名を含む)、欠席 5 名であった。出席者は委員総数の 2/3 (16 名)以上の 19 名であり、本委員会は成立することを確認し、増山委員長が委員会開催を宣言した。出席者の自己紹介を行った。

(2)議事次第確認

議事次第案と配布資料を確認し、議事次第案記載の配布資料を 1 件(16-7)削除した。

(3)議事録(案)の確認 【材 16-1】

第 15 回材料専門委員会の議事録(案)の確認を行い、議事録案は承認された。

(4)委員委嘱関係 【材 16-2】

再任、退任、及び新任委員候補はいないことが事務局から報告された。委員の所属の変更については事務局へ連絡することとした。

(5)規格委員会報告 【材 16-3】

第 61 回発電用設備規格委員会議事録(案)の材料専門委員会関連部分が報告された。

(6)ホームページデータ共有化状況【材 16-4】

ホームページを利用した電子ファイルの共有化を本年 10 月から試行する予定であることが事務局から報告され、ファイル共有機能について説明があった。検索機能やファイル管理方法等について質問

があり、材料専門委員会としての運用ルールを策定する必要があることから、新規検討課題(RQ12-C2-001)として登録することとした。ASME ボイラ圧力容器規格委員会で運用している C&S Connect が参考になるとの意見があった。

6. 審議事項

(1)材料専門委員会課題対応一覧(Tracking List) 【材 16-5】

以下の3課題が審議未了であることを確認した。

RQ09-C2-002: (増山)材料事象に関する解説(非強制規格)

RQ09-C2-003: (増山、木原、石毛、齋藤、田村、山田)既存設計規格の中の材料関連事項の見直し

RQ10-C2-001: (高橋)デジタルデータ提供の手順

また、以下の課題を新規登録した。

RQ12-C2-001: (木村)ファイル共有機能の運用ルール

(2)RQ09-C2-002:材料事象の解説 【材 16-6】

2012年8月18日に電子メールにて事前送付された“材料事象に関する解説”の原稿案が増山委員長から説明され、追加修正事項等について審議を行った。増山委員長が原稿案の追加修正を行った後、“材料事象に関する解説”の原稿案を書面投票に諮ることの是非について挙手による採決を行った結果、出席委員全員の賛成で書面投票を実施することが可決された。(賛成 19 票、反対 0 票、保留 0 票、未投票 0 票)

“材料事象に関する解説”の扱いについて審議を行った結果、原子力設備規格の設計・建設規格や材料規格、火力設備規格に非強制規格として添付してもらうことを規格委員会に提案することが承認された。また、2012年9月18日開催の規格委員会では、“材料事象に関する解説”の内容を説明することが承認された。

(3)RQ11-C3-002:金属キャスクバスケット用新規材料の規格化について

レビュー内容に関する追加審議の結果、前回のレビュー結果に追加すべき内容はないことを確認し、本検討課題の審議は終了した。本事例規格は、材料専門委員会のレビュー結果を添付して原子力専門委員会の書面投票に諮られていることが報告された。

(4)RQ11-C3-001:高速炉規格における新規材料の規格化について

以下の審議状況が浅山委員から報告された。

- ・原子力専門委員会の書面投票で可決承認された。

- ・規格委員会の書面投票も反対意見はなく可決したが、意見に対する対応を行っている。

(5)その他(今後の活動事項について)

材料専門委員会の今後の活動事項について自由討議を行った結果、JSME 発電用設備規格における材料規格の体系化、JIS 規格にない材料(火技解釈材料等)の規格のメンテナンス、新規材料規格化プロセスの実運用(例えば、A-USC 用新材料の JSME 発電設備規格化の試行あるいは実施)、物理

的性質、外圧チャート等の妥当性の確認など、活動が必要な懸案事項が提起され、これらに対する取り組みについて次回以降も継続して議論することとした。また、次回の材料専門委員会では、木原委員、石毛委員に圧力容器関連 JIS 規格 (JIS B8265, B8267) に関する状況説明をお願いするとともに、課題「RQ09-C2-003」の 1) 高強度フェライト系鋼に関する事項、2) 物理的性質データに関しての検討事項提案をおよび審議を行うこととした。

7. 次回開催予定

日 時: 2012 年 11 月 27 日 (火) 13:30-17:00 (予定)

場 所: 日本機械学会第 1 会議室

以 上